

令和 XX 年度 外国人招へい研究者（長期） 申請書

令和 XX 年 MM 月 DD 日

小区分	
書面審査区分	
合議審査区分	

研究課題	和文	
	英文	
採用期間	YYYY 年 MM 月 DD 日 ~ YYYY 年 MM 月 DD 日 (●か月)	

申請者（受入研究者）

氏名	フリガナ	
	漢字	
所属研究機関		
部局		
職		
研究者番号		

候補者（招へいする外国人招へい研究者）

氏名	(FAMILY)	(First)	(Middle)
国籍			
生年月日	YYYY 年 MM 月 DD 日		
所属研究機関	和文		
	英文		
	所在国		
部局	和文		
	英文		
職	和文		
	英文		
	相当職		

1. 招へいの目的・意義

本欄には、(1) 外国人招へい研究者を招へいする目的、(2) 外国人招へい研究者と共同研究を行う意義を1頁以内で具体的に記述すること。

※留意事項

1. 作成に当たっては、「申請書作成・記入要領」を確認すること。
2. 様式の改変をしないこと。特に、次のことを行わないこと。
 - ・余白やページ数の変更
 - ・項目（指示書き）の順番及び位置の変更、内容の変更及び削除、各項目に与えられたページ数の変更（白紙のページができていても削除しないこと）
3. 本留意事項（斜体の文章）は申請書の作成時には削除すること。
4. 日本語又は英語で作成すること。項目によって使用言語を使い分けることは認める。

2. 招へいの計画

本欄には、(1) 研究課題の学術的背景、(2) 研究課題の学術的独自性や創造性、(3) 採用期間中の共同研究において何をどのように、どこまで達成しようとするのかについて3頁以内で具体的に記述すること。

3. 招へいの準備状況・研究遂行能力

本欄には、(1) 受入研究者と外国人招へい研究者の関係性や事前交渉の進捗状況、(2) 招へい計画の実行可能性を判断するために参考となる情報（受入研究者及び外国人招へい研究者の研究業績や研究資金獲得実績、本研究課題に関連性のある国際的な研究交流活動実績（本会事業に限らない）を含む。）、(3) 資料や研究設備等の研究環境について1頁以内で具体的に記述すること。

4. 招へいの受入・実施体制

本欄には、(1) 採用期間中の宿泊場所等の生活支援や受入研究機関での身分等の便宜供与の見通し、(2) 共同研究を行う際の実施体制や他の研究者との協力体制について1頁以内で具体的に記述すること。

5. 我が国及び諸外国における学術の進展への寄与

本欄には、外国人招へい研究者との研究協力により、どのように我が国及び諸外国における学術研究の進展に寄与することが期待されるか 0.5 頁以内で簡潔に記述すること。

6. 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本欄には、研究計画を遂行するに当たって、研究対象者の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う相手国及び研究を実施する国・地域の指針・法令等を含む。）に基づく手続きが必要な研究が含まれている場合に、どのような対策や措置を講じるのか 0.5 頁以内で記述すること。

例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む。）、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査・研究・実験などが対象となるので手続きの状況も具体的に記述すること。

なお、該当しない場合には、その旨記述すること。

7. Fellow's Curriculum Vitae

(1) Personal Information

Name	
Nationality/ Citizenship	
Current Appointment and/or Status	
Academic Degree	
Field of Research	

(2) Higher Education (University and above: Start from the latest one.)

(3) Previous Employment (Start from the latest one.)

(4) Personal skills and competences (Language Ability etc.)

(5) Research Achievements, Results, Publications and Awards